

□基本的な考え方

大阪経済の活性化と会員の発展に役立つ事業を実施することにより、
大阪に賑わいを創り出すとともに、
「なくてはならない経済団体」を目指す。

I 大阪に一層の“賑わい”を創り出す～「大阪賑わい創出プラン」第2次アクションプランに基づく戦略的・先導的具體事業の推進～

「大阪賑わい創出プラン」に掲げられた「2010年以降の大阪のあるべき姿」を目指し、地域経済を牽引する3つのエンジン産業の振興と、大阪経済活性化を実現するための7つの重点テーマにつながる第2次アクションプランを新たにスタートさせる。

II 政策提言・要望活動の精力的実施

「大阪賑わい創出プラン」実現に向けたテーマをはじめ、企業の経営環境改善、地域活性化、地元自治体の行財政改革などに資する政策提言・要望活動の精力的な実施により、その実現を図る。

III 「会員満足度向上」のためのビジネス機会創造・経営革新支援・会員メリット拡充

会員企業のビジネス機会の創造や、会員の大宗を占める中堅中小企業の経営革新支援など、「会員本位」「現場第一主義」の視点から多彩で具体的な事業を実施し、会員と大阪経済の発展に資する。

IV 創立130周年記念事業の展開と組織基盤の強化

本会議所が創立130周年を迎えるのを機に記念事業を展開するほか、会員増強運動を通じて3万会員の回復・維持を図るなど、組織基盤を強化する。また、効果的な広報・PR活動を精力的に行うとともに、会員訪問活動などで集めた会員の声を事業へ反映させる。